

愛寿会だより

1 月号
第 127 号
平成 22 年
1 月 1 日発行



仁生園の東三百 m…小荒間地内「富士見坂」

より…。

北杜市長坂町夏秋九二四 仲田盛興様撮影

料金後納
郵便

串子小包

差出人(差出発送代行)

7-4

佐川物流サービズ(株)

返送先:〒140-0012

品川区勝島 1-1-1

このお荷物には依頼人様からお預かりした荷物
を当社が差出人となつて発送代行しています。

愛寿会・仁生園・第二仁生園の役職員一同から新年のごあいさつ

今年も高齢者の皆様のために

心身に障害をお持ちの皆様のために

全力を尽くして奉仕します

明けましておめでとうございます。

国際的にも国内的にも、政治、社会、経済等々予断を許さない状況が続いています。

その中で、我が国の高齢化だけは否応なく進んでいます。高齢者の数は今から二十年後の平成四十年代頭初(二〇三〇年代頭初)まで上昇カーブを画いていきます。

仁生園への入所待ちの方も三百余名になっています。単に順番により入所を決めていたのでは、真に援助を必要とする方に手を差し伸べることができません。

そこで昨年四月から優先入所に関する規程を定めました。既に十人ほどの方がこの制度により救済されています。

また、仁生園・第二仁生園とも施設利用者の重度化が年を追って進んでいます。入所者やご家族の皆様方の施設へのご希望も複雑多様化しています。これらに適切に応えるためには職員の一層の資質の向上が必要です。

それを後押しするかたちで、昨年四月愛寿会後援会のお力により、山梨県で唯一、介護福祉士資格取得奨励手当支給制度を設けていただきました。

その支援を得ながら二十名近くの受験者一同一月の試験日を目前に猛勉強中です。

そのような中、新しい年が始まります。

ご承知の方が多くと思いますが、愛寿会には、「日常の心得 **七つの誓い**」というのがあります。役員も職員も全員これをそらんじています。

- 一、はい
- 二、すみません
- 三、ありがとうございます
- 四、おかげさまで
- 五、どうしました
- 六、そうですね
- 七、させていただきます

以上ですが、この七つを日々反芻しながら実践していきます。そのことが、二百余名の利用者の皆様のご満足につながり、ひいてご家族の皆様のご安心に連動していくと確信するからです。

このことを固くお約束申し上げ、庚寅(か)のえとら)年の新春のごあいさつに代えさせていただきます。

平成二十二年は、愛寿会だよりで全役職員がごあいさつ申し上げることで年賀状の発送は控えさせていただくことになりました。ご了承願います。

愛寿会十二月定例評議員会・理事会が 十二月九日（水）に開かれ 議案・協議題とも原案のとおり可決（了解）されました

以下に議決された内容を要約してお知らせします。

理事・評議員の選任について

第二仁生園園長の根津英雄氏が理事に、また、去る六月一日に北杜市社会福祉協議会の会長にご就任の長田伯雄（はくお）氏が評議員に選任されました。

社会福祉法人愛寿会定款の一部改正について

国・県は、社会福祉法人が三千万円以上の工事をする場合には一般競争入札に付するよう決めています。そうするには多くの方にそのことを知っていただくよう公告する必要があります。愛寿会の定款は、これも国・県のモデル例により「公告は愛寿会の掲示場に掲示するとともに、官報又は新聞に掲載して行う」と定めています。これを、「愛寿会の掲示場及びホームページに掲載するとともに官報又は新聞に掲載して行う」と、公告の手段にホームページの活用を加えたものです。

就業規則の一部改正について

女子職員が、妊娠中及び出産後の健康審査

を受けやすくしたり、通勤時の混雑が母体の負担にならないよう始業及び終業時間を配慮したり、妊娠中の職員が過重負担にならないよう定められた休憩時間以外に休憩することができるようにするなど、男女雇用機会均等法等の趣旨に則り必要な改正を図りました。

労働者派遣法に基づく派遣社員から愛寿会職員となった者の身分及び給与等の取り扱いに関する特例措置について

介護の現場の人手不足が社会問題になって久しいものがあります。そうしたとき派遣会社から十数人お世話をいただき助けていただきました。派遣職員の皆様はほとんど全員が愛寿会に三年以上勤務され、一般職員と変わりがなくがんばっています。

そこで、このたび派遣会社及び派遣社員の皆様と相談し、派遣会社当時と変わらない勤務時間、給与その他の勤務条件のもと一月一日付けで愛寿会職員に移行することで話し合いがまとまりました。

これにより派遣職員の皆様も一層安心して福祉の仕事に打ち込めますし、愛寿会としても人事管理が行き届くこととなります。その移行措置を決めたものです。

第二仁生園にスプリンクラーの設備を設置します

第二仁生園の建設当時は設置義務がなかったのですが、平成十九年に消防法が改正され、平成二十四年三月までに必置とされました。

その矢先、国の経済対策が打ち出され、第二仁生園も手を挙げたところ採択となりました。そこで、今回四千万円の補正予算を認めただき年度内完成を目指すことになりました。国庫補助金が三千万円、自己資金が一千万円です。

なお、理事長から「国庫補助金を受けての工事であるため一般競争入札で業者を決めることとなります。できれば年内に、遅くとも一月早々には入札したい」との説明がありました。

車椅子でそのまま乗れる福祉自動車が年度内に第二仁生園に配備されます

かねて日本財団に申請中でした。このほど自動車の代金百五十五万円の二十パーセント三十一万円を日本財団に納めれば同財団から現物給付される運びとなりました。その三十一万円のほかスタットレスタイヤの費用等合わせて八十万円の予算を今回認めていただきました。

なお、仁生園にも必要な車両ですので本年度某助成団体に申請しました。しかし、今回は見送られました。そこで当面仁生園と第二仁生園で共用することにします。

議案として決定されたことの主なものは以上ですが、次の二項目についても協議され、方向づけがされました。

介護職員に対する処遇改善について

国において、今年の十月以降介護職員一人につき平均月一万五千円を二年半にわたって支給することが決まっています。でも、看護職員、栄養関係職員、事務職員等は対象外です。それでは、職種を問わず一家のように苦楽を分かち合っ施設運営に努めている当会としては困ってしまいます。

そこで、評議員会・理事会に、
一 全員を対象にできるだけの額を支給したい。

二 支給の時期は、支給額確定の都合から平成二十二年度の三月二十日としたい。

三 支給の方法は賞与方式とし、処遇改善分を期末手当とし、従前決算手当として支給してきた分は勤勉手当として支給したい。

四 右三項目を骨格に平成二十一年度適用の臨時的規程を三月の定例理事会・評議員会にお諮りする。

等々のことを協議していただきご理解をいただきました。

第二仁生園作業棟の建設規模等が内定しました

第二仁生園作業棟建設のことは同園スタート時からの懸案でした。

今回の理事会・評議員会で、
一 規模を百二十一平方メートル（三十七坪弱）とすること。
二 建設総額を二千五百余万円、うちJKA補助金一千三百余万円を見込む。
三 自己財源中一千万円は、過年度武田和久理事よりご寄付いただいた基金を充当する。
四 予算措置は、JKAの補助金決定後に行う。
五 その時期は、平成二十二年度の前半と見込まれる。
などのことが了解されました。



十二月の行事から

去る十二月十日に入所者の皆さん総出で、仁生園のまわりの花壇や畑にチューリップの球根を植えました。早春に、赤、白、黄、紫、緑など色とりどりの花が咲き競うのが楽しみです。



【チューリップの花言葉は「愛」。愛寿会の「愛」でもあります。あふれるような愛情を以って、入所者の皆様に接しなければ…と役員一同心を新たにしています。】

第二仁生園

手芸工作で、「金のリースづくり」に挑戦しました。材料はマカロニとカラスプレーです。皆様それぞれ素晴らしいリースが出来上がりました。



寒さに負けず体力作り…



感謝

平成二十一年十一月二十六日
平成二十一年十二月二十日

愛寿会・仁生園・第二仁生園への ご協力ありがとうございました

いつも、愛寿会・仁生園・第二仁生園のためにご協力いただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者皆様によりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

なにとぞ倍旧のご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。略儀ながらお礼状に代えさせていただきます。
(敬称略五十音順)

金員・物品のご寄付

- ・北杜市小淵沢町 安藤 克秀 様
- ・北杜市大泉町 小宮山 光彦 様
- ・北杜市長坂町 杉浦 はつ子 様
- ・北杜市長坂町 甲陵 中学校 様

ボランティア活動

- ・北杜市大泉町 奥本 道子 様
- ・北杜市大泉町 九里 靖裕 様
- ・北杜市高根町 佐藤 英道 様
- ・北杜市高根町 保坂 多枝子 様
- ・レクボランティア和(なごみ)の会 代表 加地 洋子 様
- ・レクボランティアはがらかグループ 代表 吉田 道子 様
- ・レクボランティアゆずっこの会 代表 佐野 恭子 様

愛寿会後援会へのご協力ありがとうございました

- ・北杜市長坂町 伊藤 恵美 様
- ・さいたま市 小松 英利 様

後援会役員会

十二月十六日(水)に、後援会の役員会が開催されました。

後援会の会則の一部改正や二十一年度の補正予算などについて、協議が行われました。

また、十一月三十日現在の、会費(寄附金)の納入件数が二百件を超え、二十年度一年間の件数に対して一四七%という結果になったという報告がされました。

新年度に、後援会としてどのような活動をするかが望ましいかなど、活発な意見交換が行われました。



愛寿会後援会支援による

「第二回介護福祉士国家試験対策講座」

十二月三日午後一時半から

仁生園会議室で開かれました。

平成二十一年度の介護福祉士の国家試験は、一月三十一日に東京で実施されます。

これまで何回もお知らせしましたように愛寿会後援会では、仁生園・第二仁生園のレベルアップを図る見地から、平成二十一年度二回にわたって、見出しの講座を開催して下さるようになりました。

一回目は、十月九日(金)午後の「介護福祉士の国家試験を突破するにはどうしたらよいか」でした。

二回目は「具体的な回答の仕方」と題し、十二月三日午後一時三十分から仁生園会議室で開催されました。

何れも講師は山梨県立大学の伊藤健次先生。写真のように受験する職員の皆さん真剣そのものでした。

後援会の皆様本当に感謝です。



愛寿会のサービスに何かご意見・ご要望、施設見学などございましたらこちらまでお寄せ下さい。

仁 生 園 電話 0551-32-3340
第二仁生園 電話 0551-32-8270